

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年5月 1日

事業所名 総合療育センター 西部分所 きらきら通園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの動線や個性に配慮した室内の配置を心掛けるとともに必要なスペースの確保を図るよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定の工夫の継続。
	②	職員の配置数は適切であるか		○	<ul style="list-style-type: none"> クラスの子どもの状況に合わせて、担任以外の職員フォローアップ体制を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	<ul style="list-style-type: none"> あつまり、給食、着替え等、生活の場所を空間を分けて利用したり、カーペットなど敷き、リラックスする場所として分かりやすくするなど構造化の工夫。 子どもの特性に合わせた環境設定やバリアフリーに配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	<ul style="list-style-type: none"> 自立の妨げになる刺激をできるだけコントロールし、活動に集中できるよう環境を整備。 床面にマットを引き、安全面に配慮。 玩具や環境設備の消毒 看護師から保護者に向けて感染症の講座を実施し、手洗いや玩具清掃にご協力頂いた。 感染症発生時のメール配信。 	<ul style="list-style-type: none"> 可能な範囲で予測される感染症予防対策を継続する。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○	<p>【クラス運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各クラスの特性に応じたクラスミーティングの実施（保育士、リハビリスタッフ、看護師など多職種が参加） クラスミーティングによる目標設定と修正を実施。 <p>【業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分担業務をマニュアル化。 年度毎、計画→実施→見直しを行い、マニュアルの修正。 	<ul style="list-style-type: none"> より良い支援を継続させていくようPDCAサイクルを継続する。
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等評価表による調査を実施、説明。 クラス懇談会を設け、クラス運営への要望や希望を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価表の結果をもとに検討課題を整理して、運営に活かしていく。 定期的に懇談の時間を設けて、保護者の意向等を把握できるように努める。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		・事業所向けや保護者用の自己評価表による調査を実施し、ホームページに掲載。 ・保護者用の自己評価の結果は文書で配布。	・今後もホームページ掲載継続。
		⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				・当所全体の課題として、今後検討。
		⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			・保育現場での課題を研修テーマとしての所内研修を実施。 ・全職員の参加する所外研修（年2回）を始め、計画的に外部研修へ参加。	・今後も継続。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		・保護者からの聞き取り、通園での評価や観察をもとに、定期的にリハビリスタッフと共にカンファレンスやクラスミーティングを実施し、現状の確認、課題と方針の設定を踏まえた個別支援計画を立案。	・6か月で達成が期待できる具体的な目標を提示し、保護者と共有できやすい個別支援計画にする。
		⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			・PT、OT、ST、心理士による評価結果を参考として支援を実施。	・PT、OT、ST、心理士の協力を得ながら、今後も継続。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		・カンファレンスやクラスミーティングでの課題と支援方針をもとに具体的な支援内容を設定。 ・家族支援や地域支援については、園長に報告し、速やかに対応を検討。	・家族支援や地域支援については、職場内で学習の機会を設け、役割について検討を今後も重ねる。
		⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか			・独自の目標設定プログラムの活用により、一人ひとりの個別支援計画の目標を職員間で共有した上で日々の支援を実施、同時に、日頃から個別支援計画を意識した支援が行われた。 ・個別支援計画の6か月を目安とした目標を、2か月ごとの目標設定に整理して、きめ細やかな支援を工夫。	・今年度は保護者に伝わりやすい独自の目標設定プログラムを作成し、説明していく予定となっている。その後、振り返り、検討の方法について再度見直しを行う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		・年間カリキュラムをもとに月案を計画。 ・クラス単位（保育士・指導員）で活動案を立案し、PT、OT、ST、心理士と協議して、最終月案を作成。	・今後も継続。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑯	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に合わせたねらいを定めたり、道具を工夫する。 ・保護者の意見を取り入れる。 ・繰り返しの中で学べる事も意識して取り入れる。 ・一人の子どもに提供する遊びが偏らないように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、活動や子どものねらいを、保護者にもわかりやすく説明し、意見等を把握しながら運営する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・低年齢の集団であるため、遊びや生活の中で個別にかかるという前提で作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も年齢に適した遊びの提供を継続する。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保育活動に携わる保育士、リハビリスタッフ間で、活動の振り返りや打ち合わせを実施することで、子ども一人ひとりの支援内容や役割を共有した上で、保育活動を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りと打ち合わせを継続する中での効率的な情報交換とスタッフ間の周知方法の再検討を行う。 ・職員間のコミュニケーションをより図り、意見交換を緊密に行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の打ち合わせの時間に、振り返りの時間を設け、保育士、リハビリスタッフ、看護師の意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りと打ち合わせを継続する中での効率的な情報交換とスタッフ間の周知方法の再検討を行う。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の記録は、目標の達成度合いの確認や支援方法の改善に活用。 ・毎日行っているスタッフ間の振り返りの内容も記録として活用することを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の目標をもとにした、支援の検証、改善に活用できる記録を実施する。
	⑯	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを実施。 ・モニタリングとしてカンファレンスを実施することで、各専門スタッフの多角的な視点を踏まえた目標見直しを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	⑯	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議に所長、園長、児発管、担任、看護師など、必要に応じてリハスタッフが参加。 ・必要に応じて、通園主催により会議を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との併用利用者が年々増加していることから、サービス担当者会議をはじめ、情報交換の機会設定を今後も重視する。
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議に所長、園長、児発管、担任、看護師など、必要に応じてリハビリスタッフが参加。 ・必要に応じて、通園主催により会議を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も関係連携機関と緊密な連携に取り組む。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	(23)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて、個別支援会議を実施。	・今後も継続。
	(24)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・必要に応じて、西部分所所長（医師）を通して、主治医や協力医療機関との情報交換を実施。 ・診療情報提供書を利用して、園児の病状や通園における注意点など情報を把握。 ・看護師が連絡体制について保護者と確認。	・今後も継続。
	(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・所属先（幼稚園、保育所、事業所）との情報交換を年1回以上を実施（電話や見学、会議等）。 ・必要に応じて、幼稚園や保育所に訪問し、情報交換や助言を実施。	・今後も情報交換を実施し、支援に関する情報の共有や支援への理解を図る。
	(26)	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・小学校の先生による訪問、情報交換、添書を作成。 ・学校への移行に向けて、保護者とサポートブックを作成。	・今後も継続。
	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他機関に対して、学術集会や療育研修報告会を案内。 ・サービス担当者会議に参加。	・他機関の施設機能について情報収集に努め、利用者へのサービス向上を図る。
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・地域の保育所との交流保育を実施。	・交流保育への参加対象児が限られるため、幅を広げていきたい。
	(29)	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・竹末市民センター子育てネットワーク会議に参加。	・地域とのつながりを深めるため、様々な方法を検討していきたい。
	(30)	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・懇談時間以外も、子どもの日頃の様子を聞き取るように信頼関係づくりに心がけている。 ・連絡ノートの活用。 ・共通理解を深めるため、具体的な場面における関わり方の工夫を書面により伝達。	・保護者と共有している個別支援計画の目標や関わり方について、保護者に対して具体的に分かりやすく、文書で提示する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で担当スタッフとの懇談会を設定。 ・親子通園の中で、子どもへの関わり方について細かい手順をその場で実践して伝達。 ・生活場面における保護者に分かりやすい保育の取り組み、介入を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(32)	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者負担等は入園オリエンテーションで説明。 ・運営規程は自由な閲覧。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に閲覧できることを、オリエンテーション時に説明する。
	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、個人懇談会の時間を保育時間外に設定し、保護者の意見を聞き取り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に相談できる環境づくりや連絡帳での意見交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・クラス懇談会を実施。 ・保護者のみの昼食時間を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(36)	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で速やかな報告、相談を実施。 ・運営体制変更の際は、保護者説明を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な対応に取り組む。 ・日頃の関わりまたはクラス懇談などを通して、保護者の相談に応じる機会を設ける。
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラスだより発行。 ・月の活動の内容とねらいを掲示し、保護者に説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(38)	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・行動規範チェックリストを使用し、事業所全体で情報の取り扱いを確認。 ・個人を特定できる情報の取り扱いは日常的にチェック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者に合わせた関わり方に配慮。（ジェスチャー・選択肢の提示・視覚支援など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練や防犯訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時には想定した避難行動を保護者へわかりやすく伝達する。
	⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・月1で火災訓練、年1回防犯訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震訓練の実施について検討する。
	⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・健康面の配慮点や予防接種については、保健調査票で入園時に確認。 ・看護師中心の対応。発作時の対応は個別に毎年確認。お薬手帳の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書をもとに対応。通園係、診療係、調理員全員で内容を確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事例集は未作成だが、毎日、打ち合わせで情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・行動規範チェックリストを使用し、事業所全体で対応を確認。 ・人権研修の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。
	⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には文書で説明し、了承を得ている。現在、個別支援計画には記載していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続。